

# めぶき東アジアレポート

## MEBUKI EAST ASIA REPORT

### Shanghai / Hong Kong / Taiwan

2023年1月号

【上海通信】中国における海外からの資金調達枠について ～マクロプルーデンス政策因数の調整～	1
【東アジア駐在員コラム】香港のクリスマス事情について	3
【ニューストピックス】2022年11月～12月の動き	3
【めぶきFGアジアネットワークのご紹介】	4

#### 常陽銀行上海駐在員事務所

上海市長寧区延安西路2201号  
上海国際貿易中心1901室  
TEL : +86-21-6209-0258  
E-mail : joyosh@uninet.org

#### 足利銀行香港駐在員事務所

Suite 1601, 16/F, Tower 2 The Gateway  
Harbour City, Tsim Sha Tsui, Kowloon, HK  
TEL : +852-2251-9475  
E-mail : hongkongrep@ashikagabk.com.hk

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談くださいますようお願いいたします。

発行元：常陽銀行市場国際部





# 【上海通信】中国における海外からの資金調達枠について ～マクロプルーデンス政策因数の調整～

～はじめに～

既に中国に進出している企業や今後中国への進出を検討する企業にとって、現地での安定した資金調達は重要な経営課題です。2022年10月、中国現地法人が中国国外から資金調達（親子ローンを含む）を行う場合の借入枠（外債枠）の管理方式の一つであるマクロプルーデンスの政策因数が変更されました。本レポートでは中国における外債枠について整理するとともに、変更内容とその影響についてレポートいたします。

## 1. 海外からの借入枠

中国では、日本企業の子会社などの外資企業が「親子ローン」や「クロスボーダーローン」といった海外からの資金調達を行う場合、借入枠は「投注差方式」で管理されてきましたが、2016年5月から「マクロプルーデンス方式」が導入されました。「マクロプルーデンス方式」の導入により、企業の海外からの借入枠や通貨の選択肢が広がり、資金調達の自由度が増しました。

外資企業は、「投注差方式」と「マクロプルーデンス方式」のいずれかを選択し、所管の外貨管理局へ申請する必要があります。ただし、管理方式は一度選択すると原則変更は認められませんので、どちらを選択するか十分な検討が必要です。

## 2. マクロプルーデンス方式

### （1）マクロプルーデンス方式とは

マクロプルーデンス方式は、企業の純資産額（前年度末会計監査報告書時点）を基準に計算される上限額まで海外から資金調達できる仕組みです。投注差方式では、投資総額と登録資本金の差引で上限額を算出するのにに対し、マクロプルーデンス方式では、純資産額に中国人民銀行が定める政策因数を乗じて算出します。

### （2）今回の変更点と計算方法

マクロプルーデンス方式では、「資本金・純資産×レバレッジ率×マクロプルーデンス政策因数」で外債枠が算出されます。今回の変更では、マクロプルーデンス政策因数が「1倍→1.25倍」に変更されたことで、外債枠が「純資産×2倍→純資産×2.5倍」へと引き上げられました。

マクロプルーデンス方式の算出方法（金融以外の一般企業）

純資産	×	レバレッジ率	×	マクロプルーデンス政策因数	=	外債枠（借入上限金額）
純資産	×	2.0	×	（現状）1.00 （本件後）1.25	=	（現状）純資産の2.0倍 （本件後）純資産の2.5倍

<出所：過去の当局発表関連通達に基づき作成>

### （3）過去の調整履歴

中国人民銀行は、足元の経済動向、市場環境を見ながら随時政策因数を変更し、外債枠を調整しています。今回の調整は、ロックダウンによる企業の財務悪化の防止や為替変動圧力を緩和させるためのものと言われています。過去のマクロプルーデンス調整履歴は以下の通りです。

No.	公布日	主要調整内容
1	2016年実施時	マクロプルーデンス政策因数は1.00
2	2020.03.12	マクロプルーデンス政策因数を1.00から1.25に引き上げ
3	2021.01.07	マクロプルーデンス政策因数を1.25から1.00に引き下げ
4	2022.10.25	マクロプルーデンス政策因数を1.00から1.25に引き上げ

<出所：過去の当局発表関連通達に基づき作成>

### 3. 投注差とマクロプルーデンスの比較

#### (1) 投注差方式の仕組み(2003年より施行)

投注差方式は、「投資総額」と「登録資本金(資本金)」の差額(投注差)が外債枠となる管理方式のことで、下記の通り、投資総額に対する最低資本比率と最低資本金額が定められています。企業は規定に沿って設立・登記する必要があるため、登録資本金により獲得可能な最大外債枠が最初に設定されることとなります。

#### 「投資総額に対する登録資本金最低比率」

投資総額	最低資本比率	最低資本金額
	300万米ドル以下	投資総額の70%以上
300万米ドル超～1,000万米ドル以下	投資総額の50%以上	210万米ドル
1,000万米ドル超～3,000万米ドル以下	投資総額の40%以上	500万米ドル
3,000万米ドル超	投資総額の1/3以上	1,200万米ドル

<出所：国家工商行政管理局、工商企字[1987]第38号により作成>

#### (2) 2つの管理方式の比較

2つの管理方式を比較した場合、主に以下のようなメリット・デメリットがあげられます。

管理方式は一度選択すると原則変更ができません。各企業の状況が異なるため、どちらのモデルを選択したほうが有利になるか一概には言えませんが、マクロプルーデンス方式は調達可能額が大きい一方で、政策因数の変動に伴う外債枠減少リスクに留意しなければなりません。

	投注差方式	マクロプルーデンス方式
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>純資産が少ない企業でも借入可能(枠があれば債務超過でも)</li> <li>増資すると投注差を広げることが可能</li> <li>短期借入(1年以内)の場合は返済すれば外債枠は復活可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>純資産の潤沢な企業は調達可能枠が大きくなる場合がある。</li> <li>全ての借入において、返済後は外債枠が復活可能</li> </ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>中長期(1年超)借入は返済しても外債枠は復活しない</li> <li>外債枠を拡大するには増資が必要</li> <li>今後、マクロプルーデンス方式への完全移行の可能性あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>純資産がゼロもしくは債務超過の場合枠がゼロ</li> <li>純資産の変動、レバレッジ率、政策因数による関連政策の調整により枠が変動</li> </ul>

#### (ご参考) 事例による比較

どちらが有利とはいえませんが、簡単な事例をみてご参考にしてください。

#### 【事例1：投資総額200万ドル、登録資本金140万ドル、純資産25万ドルの場合の外債枠】

##### 【投注差方式】

・投資総額200万ドル-登録資本金140万ドルA=外債枠60万ドル

<

##### 【マクロプルーデンス方式】

・純資産25万ドル $\times 2 \times 1.25 = 62.5$ 万ドル

#### 【事例2：投資総額200万ドル、登録資本金140万ドル、純資産0(債務超過)の場合の外債枠】

##### 【投注差方式】

・投資総額200万ドル-登録資本金140万ドルA=外債枠60万ドル

>

##### 【マクロプルーデンス方式】

・純資産0万ドル $\times 2 \times 1.25 = 0$ 万ドル

### 4. まとめ

今回のマクロプルーデンス政策因数の変更は外債枠の拡大に繋がりましたが、過去には政策因数が減少したケースもあります。仮に政策因数の変更で外債枠が減少する場合でも、契約期限まで残高を維持することが可能です。ただし、期限到来後には、限度超過額について資本増強や中国国内の銀行からの借入に切り替える必要があるため、資金繰りや当局の追加政策には十分留意しなければなりません。

中国における資金調達の規制変更は、同国で企業活動を行う上で大きな影響を及ぼすため、注視する必要があります。当事務所では、関連情報を発信するとともに、現地での企業活動をサポートしてまいりますので、お気軽にご相談ください。

(常陽銀行上海駐在員事務所 王 嬌)

### —香港のクリスマス事情について—

クリスマスは、日本も含め世界的イベントになっており、香港においても盛大に祝われています。香港にクリスマスが伝わったのはイギリス統治下の1800年代半ばとされています。宗教上の違いから、しばらくの間クリスマスは外国人だけのものでしたが、1970年代に、イギリスにならってクリスマスとその翌日のボクシングデーが祝日に指定されたこと、またクリスマスの商業化の波を受けて、地元市民にも広まりました。

日本のクリスマスと言えば24日のクリスマスイブが中心ですが、香港では25日のクリスマス当日に、家族や友人などと買い物や食事に出掛け、街のイルミネーションを見るなどして楽しめます。そして翌日のボクシングデーは子供たちにとって一大イベントです。元々はイギリスで主人が使用人にプレゼントをBoxに入れて渡したことから”Boxing Day”と名付けられましたが、今日の香港ではクリスマスプレゼントの箱を開ける日として定着しています。また、日本のクリスマス料理と言えば、チキンとケーキが定番ですが、香港では特に定番はなく、中華や和食、イタリアンなど思い思いの食事を楽しむ習慣があります。私は今回のクリスマスでは、皆で火鍋を食べました。温暖な香港とは言え、12月は少し冷え込んでいたため、温かな火鍋とともに楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

(足利銀行香港駐在員事務所 現地スタッフ 温秋芳)



<ライトアップの様子（筆者撮影）>

## ニューストピックス

- ・ 中国企業の海外投資、1～10月は10.3%増 (11/18)
- ・ 香港最大級の日本酒イベント始動＝50店で広東海鮮料理を提供—12月20日まで (11/18)
- ・ 大連で「RCEP国際ビジネス区」開業＝関係国企業の進出に期待 (11/21)
- ・ 住宅ローン金利引き続き低下、過去最低「3%台」エリアも (11/24)
- ・ 上海市の1～10月貿易、5.3%増に鈍化＝感染拡大が影響 (11/25)
- ・ 預金準備率0.25%引き下げ、中小企業支援 (11/28)
- ・ 江沢民元国家主席が死去、96歳 (12/1)
- ・ 丸亀製麺が中国再進出、来年モデル店 (12/2)
- ・ 中国は来年4.5%成長に回復、ゴールドマン (12/6)
- ・ 不動産企業の業績不振鮮明へ通年の千億元販売、前年比半減に (12/7)
- ・ 行動・移動制限を大幅緩和陰性証明・健康コードが基本不要 (12/8)
- ・ 新車販売が半年ぶりマイナス11月は7.9%減、コロナ直撃 (12/12)
- ・ 1カ月内に感染ピークか対策緩和で、自宅隔離の備え必要 (12/13)
- ・ 中国VR企業が海外進出加速、東南アで攻勢 (12/14)
- ・ 中国最大の「海上免税店」、来年オープンへ (12/15)
- ・ 外資が中国経済の上向き予測 「23年は5%台成長」が大半 (12/15)
- ・ 11月の経済指標、コロナ直撃各項目が上海正常化後の最悪更新 (12/16)

(出所 NNA・時事速報・亜州ビジネス)

## めぶきFGアジアネットワークのご紹介

お客様の海外進出をサポートするため、様々な機関や外国銀行と業務提携を結び、支援体制の強化を進めています。

提携先	常陽	足利	主な業務内容
中国銀行（中国）	●	●	中国国内情報の提供および各種金融サービスの提供
交通銀行（中国）	●		
中国信託商業銀行（台湾）	●		台湾情報の提供および各種金融サービスの提供
カシコン銀行（タイ）	●	●	タイ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バンコック銀行（タイ）	●		
バンクネガラインドネシア（インドネシア）	●		インドネシア国内情報の提供および各種金融サービスの提供
CIMBニアガ銀行（インドネシア）		●	
ヴィエティンバンク（ベトナム）	●		ベトナム国内情報の提供および各種金融サービスの提供
ベトコム銀行（ベトナム）	●	●	
ベトナム外国投資庁（ベトナム）	●		ベトナム関連セミナーの開催協力 ベトナム進出に関する各種支援、投資関連情報の提供
BDOユニバンク（フィリピン）	●		フィリピン国内情報の提供および各種金融サービスの提供
メトロポリタン銀行（フィリピン）		●	
インドステイト銀行（インド）	●	●	インド国内情報の提供および各種金融サービスの提供
パナメックス（メキシコ）	●	●	メキシコ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
アグアスカリエンテス州政府ほか（メキシコ）	●	●	メキシコに関する現地市場調査 投資情報の提供
日本貿易振興機構（JETRO）	●	●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力機構（JICA）	●	●	途上国での海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力銀行（JBIC）	●		海外展開支援融資の提供
日本貿易保険（NEXI）	●	●	輸出取引を行う際の海外取引リスクに備える各種貿易保険の提供
中小企業基盤整備機構		●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
東京海上日動火災保険	●	●	海外リスク情報等の提供 リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供 各種損害保険の提供
損害保険ジャパン	●	●	
三井住友海上火災保険	●	●	
セコム	●		海外での安全システム・防犯危機商品の提供 海外セキュリティーサービスの提供
総合警備保障	●		

常陽銀行 シンガポール駐在員事務所	10 Collyer Quay, #09-07A, Ocean Financial Centre, Singapore, 049315 <a href="tel:+65-6225-6543">TEL:+65-6225-6543</a>
常陽銀行ハノイ駐在員事務所	5th Floor, Sun Red River, 23 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam <a href="tel:+84-24-3218-1668">TEL:+84-24-3218-1668</a>
常陽銀行上海駐在員事務所	上海市延安西路2201号 上海国際貿易中心1901室 <a href="tel:+86-21-6209-0258">TEL:+86-21-6209-0258</a>
常陽銀行 ニューヨーク駐在員事務所	712 Fifth Avenue, 8th Floor, New York, NY 10019 <a href="tel:+1-347-686-8420">TEL:+1-347-686-8420</a>
足利銀行香港駐在員事務所	Suite 1601, 16th Floor, Tower 2, The Gateway, Harbour City, Kowloon, Hong Kong <a href="tel:+852-2251-9475">TEL:+852-2251-9475</a>
足利銀行バンコク駐在員事務所	689, Bhiraj Tower at Emquartier, 27th Floor, Room No.2714, Sukhumvit Road, Klongton-nue, Wattana, Bangkok, Thailand 10110 <a href="tel:+66-2-261-2852">TEL:+66-2-261-2852</a>

【アジア全域】

- 日本貿易保険、損害保険ジャパン、東京海上日動火災保険、三井住友海上火災保険によるリスクマネジメント
- NXグループ（旧日通）による物流サポート
- セコム、総合警備保障によるセキュリティコンサルティング
- 沼尻産業、ユーユーワールドによる輸出支援サービス
- アリババによる海外販路開拓サービス
- 国際協力銀行による中堅・中小企業海外事業安定化支援
- ハラル・ジャパン協会によるハラルに関するコンサルティング

【中国】

- 上海駐在員事務所によるサポート
- 香港駐在員事務所によるサポート
- 中国銀行、交通銀行による金融サービス提供

【台湾】

- 中国信託商業銀行による金融サービス提供

【ベトナム】

- ハノイ駐在員事務所によるサポート
- ヴィエティンバンク、ベトコム銀行による金融サービス提供
- ベトナム外国投資庁による各種情報提供

【フィリピン】

- BDOユニバンク、メトロポリタン銀行による金融サービス提供

【インド】

- インドステイト銀行による金融サービス提供

【タイ】

- バンコク駐在員事務所によるサポート
- カシコン銀行、バンコック銀行による金融サービス提供
- ジェイ・ウィル・グループによる進出支援

【インドネシア】

- バンクネガラインドネシア、CIMBニアガ銀行による金融サービス提供

【シンガポール】

- シンガポール駐在員事務所による同国および周辺諸国へのサポート

